外部委託で構成部品マスターを作成したい会社様向け

ECAD DCX構成部品マスター請負いサービス

≪ECAD 構成部品マスター請負いサービスとは≫
ECAD シリーズでは部品マスターを用いることで作業効率が飛躍的に向上します。
部品マスターはお客様ご自身で作成することも出来ますが、初めはノウハウがないため試行錯誤の連続です。また専任者がいないと設計しながらの作業になるため完成までに時間がかかります。
『部品マスター請負いサービス』ではノウハウを持った専門業者が、お客様に代わって最適な部品マスターを構築します。短期間で部品マスターを使った本格運用に入りたいお客様にお勧めです。

■部品ライブラリ完成までの流れ

打ち合わせ ⇨ 見積書作成 ⇨ 正式契約 ⇨ お客様 部品リスト作成 ⇨ 当社作業 ⇨⇦ お客様 確認作業 ⇨ 部品ライブラリ納品

■価格表

型式数	Aプラン	工数	Bプラン	工数	Cプラン	工数	Dプラン	工数
500 個まで	80 万円	3 ヵ月	120 万円	4 ヵ月	160 万円	5 ヵ月	200 万円	6 ヵ月
1000 個まで	120 万円	4 ヵ月	180 万円	5.5 ヵ月	240 万円	7 ヵ月	300 万円	8.5 ヵ月
1500 個まで	160 万円	5 ヵ月	240 万円	7 ヵ月	320 万円	9 ヵ月	400 万円	11 ヵ月
以降 500 個毎に	40 万円	-	60 万円	-	80 万円	-	100 万円	-

（工数は目安です。お客様のご要望によって工数は長くなります。それに応じて料金も変わります。）

■各プランの説明

Aプラン （部品マスタ・回路シンボル）	部品マスタを作成します。提供シンボルは回路シンボルのみです。 部品マスタには回路シンボルを登録します。
Bプラン （Aプラン＋外形シンボル）	A プランに加え外形シンボルを提供します。 部品マスタには回路シンボル、外形シンボルを登録します。
Cプラン （B プラン＋R 枠シンボル）	B プランに加え、リファレンス枠シンボルをご提供します。 部品マスタには回路シンボル、外形シンボル、リファレンス枠シンボルを登録します。
Dプラン （C プラン＋IO シンボル）	C プランに加え、シーケンサの入出力図（IO 図）をご提供します。 部品マスタには回路シンボル、外形シンボル、リファレンス枠、IO 図を登録します。

■型式の個数の数え方

一つの型式に、定格・仕様が一つの場合

部品名	ﾒｰｶｰ	型式	定格
タイマー	富士	MS4SA-AP	AC100-240V
タイマー	富士	MS4SA-CE	AC/DC24V
タイマー	富士	S4SA-DL	DC48-127V
端子台	富士	AYBN013-1	3P 15A
端子台	富士	AYBN013-5	3P 15A
端子台	富士	AYBN014-1	4P 15A

上記の場合、異なる型式が6個あります。この場合、型式数は6個とカウントします。

一つの型式に定格・仕様が複数ある場合

部品名	ﾒｰｶｰ	型式	定格
配線遮断機	三菱	NF63-CVF	2P 50AF/10AT
配線遮断機	三菱	NF63-CVF	3P 50AF/10AT
配線遮断機	三菱	NF63-CVF	2P 50AF/15AT
配線遮断機	三菱	NF125-CVF	2P 100AF/60AT
配線遮断機	三菱	NF125-CVF	3P 100AF/60AT
配線遮断機	三菱	NF125-CVF	2P 100AF/75AT

上記の場合、2つの型式に定格が各3パターンありますが、型式の個数は2個とカウントします

■作成範囲

1. 適合端子部品、嵌合部品は対象外となります。
2. 端子情報は端子番号のみとします。
   （容量、安全率、端子径、端子種、信号名、電材種などは対象外となります）
3. 外形シンボルの作成は部品メーカーが DXF/DWG ファイルで提供している場合に限ります。
   また正面図、側面図のみとなります。
4. 外形シンボルの穴あけ加工情報はありません。別料金で承ります。
5. 図枠、各種帳票は各プランには含まれません。別料金で承ります。
6. 定格は 2 個まで。部品情報は 3 個までとなります。それ以上は別料金で承ります。

■当社（システムウイング）の強み

豊富な経験です。ECAD DCX は素晴らしい電気専用 CAD ですが、機能として不十分な部分や制限事項が少なからずあります。これは経験からしか知ることができません。ご自身で部品マスターを作成したお客様から『ここまで来るのに 3 回作り直した』と言われたことがあります。経験がない以上、これはよく起こりえることです。しかし失った時間と費用は計り知りえません。当社では不十分な部分や制限事項を全て把握した上でお客様とって最適な部品マスターを構築していきます。

もう一つの強みはこれまでに蓄積されたデータを再利用するため短期間で納品できるということです。そして納品して終わりということではなく、部品マスターを利用した設計業務が軌道に乗るまでサポートします。

お客様にお願いすることは Excel で精度の高い部品リストを作成していただくことです。この部品リストがラフであれば部品マスターもラフになりますし、精度が高ければ部品マスターの精度も高くなります。

（部品リストのフォーマットは弊社ホームページからダウンロードできます）

System Wing

有限会社システムウイング

宮城県仙台市若林区中倉 3 丁目 9-15　AI マンション大和 402

TEL　022-781-6437　FAX 022-781-6438

eMail: iwasaki@msj-wing.co.jp

http://www.msj-wing.co.jp

2025/02